学校番号	3032B

令和８年度　専家庭

教科	専家庭	科目	保育実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育実践　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保育の重要性をさらに深く理解し，子供の発達を促す技術を身に付けるとともに，子供の健やかな発達を促すための保育について考え，よりよい保育を創造し地域の保育や子育て支援に寄与できる資質・能力を育成することをねらいとしています。積極的に実習に参加しましょう。

2　学習の到達目標

（1）子供の表現活動や子育て支援について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
（2）保育や子育て支援に関する課題を発見し，子供を取り巻く環境の変化に対応した保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（3）保育の充実を目指して自ら学び，保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育を担う職業人としての専門的な知識と技術を習得する。また、子供の健やかな発達を促すことができるように，保育や子育て支援に必要な技術を習得する。	子供の育ちや子育て支援に関して思考を深め，課題を発見する。子供を取り巻く環境が目まぐるしく変化することに着目し，変化に対応しながらも子供の健やかな発達を促すための保育について考え，よりよい保育を創造し 課題を解決する力を身に付けている。	子供たちの健やかな発達を保障するためには，保育の充実が不可欠であることを認識し，豊かな人間性を養い，広い視野をもちながら学ぼうとしている。また、保育や子育て 支援に必要な知識と技術を進んで習得し，職業人として習得した知識や技術を活用すると ともに，他者と協働しながら主体的に学び続ける態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもと遊び	遊びと発達 遊びの現状 遊びと遊具・玩具	a.望ましい条件を満たすような遊具を考案し、製作することができる。遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達とのかかわりについて理解している。 b.様々な遊びを比較するなどして、遊びの楽しみの共有化、工夫する体験の大切さについて考えられている。また、遊具の選び方や与え方などを具体的に考えることができる。 c.子どもの遊びについて関心をもち、意欲的に理解しようとしている。	テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート
	子ども文化実習	子どもとの交流活動		テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート
後期	子どもの表現活動と児童文化財	造形表現活動 言語表現活動 音楽・身体表現活動 ICT を活用した活動 絵本 児童文学	a.様々な表現活動に必要な技能を習得している。子どもの表現活動の意義を理解し、それを支える児童文化財の重要性について理解している。 b.ICT を活用した活動の意義を理解し、長所と短所について考え、適切な活用方法を提案できる。 c. 子どもの表現活動と児童文化財に関心をもち、積極的に習得しようとしている。	テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート
	子ども文化を支える場	行政による公的な支え方 民間企業による支え方 子どものための各種施設	a.子ども文化を支える場の種類や目的を理解している。 b.子ども文化を支える施設について、比較しながらそれぞれの意義や有効な活用方法について考える。 c.子ども文化を支える場に関心をもち、意欲的に理解しようとしている。	テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度